

環境目標と実績

主要な環境活動について目標を設定し、環境負荷の継続的な低減に努めています。

項目	単位	実績			2010年度環境目標		
		2008年度	2009年度	2010年度			
地球環境問題への取組み	オフィス電力	使用量	百万kWh	30.2	28.3	29.6	—
		単位面積あたり使用量	kWh/㎡	125.5	116.2	119.6	130以下
	自家物流輸送 (特殊車両等を除く)	低公害車導入比率 ^{*1}	%	54	58	62	60以上
		燃料消費率(燃費)	km/ℓ	10.7	10.8	10.7	11.0以上
	SF ₆ (六フッ化硫黄) 回収率	機器点検時	%	実績なし ^{*2}	実績なし ^{*2}	実績なし ^{*2}	98以上
		機器撤去時	%	実績なし ^{*2}	100	99	99以上
	機器点検時の規制対象フロン回収実施率	%	100	100	100	100	
用紙使用量 ^{*3}	百万枚	114.1	127.9	130.2	事務用紙 使用量の節約		
上水使用量	千トン	175.5	175.7	179.4	上水使用量の節約		
循環型社会 形成への取組み	リサイクル率	産業廃棄物	%	87	91	94	90程度
		古紙	%	90	93	96	100
	グリーン調達率	%	69	82	84	事務用品の グリーン調達推進	

*1: クリーンエネルギー車と低燃費車のグループ会社保有車両総台数に占める割合。 *2: 設備は保有しているが、機器の点検・撤去の実績がないもの。
*3: 用紙使用量はA4サイズ換算枚数。

詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報(P13参照) オフィス電力・自家物流輸送(グループ会社)

1 地球環境問題への取組み

1 温室効果ガスの排出抑制

オフィス電力使用量などのグループ環境目標を設定し、省エネ活動、省エネ機器の導入及びエコドライブ等をグループ一体となって推進しています。

2010年度は、冷熱発電設備のガス漏洩対策工事を実施し、HFCの排出量を抑制したことにより、温室効果ガスの排出量が減少しました。

温室効果ガス排出量 単位:千トン-CO₂

	2008年度	2009年度	2010年度
CO ₂ (二酸化炭素)*	122.9	118.7	119.5
CH ₄ (メタン)*	0.1	0.3	0.1
N ₂ O(一酸化二窒素)*	0.00	0.00	0.00
HFC(ハイドロフルオロカーボン)	33.5	23.7	18.0
PFC(パーフルオロカーボン)	—	—	—
SF ₆ (六フッ化硫黄)	—	—	0.00
合計	156.5	142.6	137.5

(注) 四捨五入のため合計値が合わないことがある。
*: 電力会社等への販売電力量分(発電用燃料の燃焼に伴う排出量)を除く。

詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報(P13参照) 温室効果ガスの排出量の詳細実績

2 オゾン層の保護

オゾン層を破壊するフロン類については、その回収を徹底するため、グループ環境目標を設定し、フロン類の排出抑制をグループ一体となって推進しています。

2010年度はフロンを使用しない洗浄機械更新によりHCFCの排出量は減少しましたが、事務所改修工事時にハロンの排出がありました。

各種エネルギー使用量

エネルギー	単位	2008年度		2009年度		2010年度			
		会社数	使用量	会社数	使用量	会社数	使用量		
電力	オフィス	百万kWh	38	30.2	38	28.3	42	29.6	
	工場等	百万kWh	31	208.5	32	208.6	33	213.4	
燃料	車両等	ガソリン等	千ℓ	39	6.2	41	6.7	44	6.6
		天然ガス	千m ³	1	0.4	1	0.3	1	0.3
	工業用*	冷暖房用	千ℓ	9	0.3	9	0.1	9	0.1
		A重油等	千ℓ	12	1.8	12	1.7	12	1.8
熱	LNG, LPG	千トン	7	2.1	7	1.8	7	1.8	
蒸気等	百万MJ	3	39.5	3	48.1	3	45.7		

*: 電力会社等への販売電力量分(発電用燃料)を除く。

オゾン層破壊物質保有量等

単位:トン

物質	保有量 排出量	2008年度		2009年度		2010年度	
		会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
CFC	保有量	4	15.6	4	15.5	4	15.5
	排出量	—	0.1	—	—	—	—
HCFC	保有量	26	57.4	26	54.7	26	53.5
	排出量	—	3.7	—	4.8	—	1.9
ハロン	保有量	6	12.4	6	12.4	6	12.3
	排出量	—	—	—	—	—	0.4

単位: ODPトン

オゾン層破壊物質排出量*	2008年度	2009年度	2010年度
	0.2	0.1	3.7

*: 各フロン類のオゾン層破壊係数を用いて、CFC-11重量相当に換算。